

生駒市エネルギービジョン(案)パブリックコメントで頂いたご意見と それに対する考え方一覧(案)

- ご意見提出期間 平成25年12月24日(火)から平成26年1月24日(金)まで
- ご意見提出件数 3件

生駒市環境審議会エネルギービジョン策定部会

生駒市エネルギービジョン(案)パブリックコメントで頂いたご意見への対応(案)

番号	頂いたご意見	エネルギービジョン策定部会の考え方
1	<p><創エネ(再エネ)対策関連> P. 12の分類図に再エネの全種類が記載され、そのうち生駒市の特性に応じた再エネ3種を重点取り組みとしており、問題ないとする。</p> <p><省エネ対策関連> ・P. 12、13他全般 個別の革新的エネルギー高度利用技術、個別の省エネ対策が多くあるにもかかわらず、一部の個別技術・対策だけを記載・クローズアップされ、一般的にガス事業者のエネルギービジョンとも受け取れるものになっている。(一部のページでは商品名まで記載されているのはいかかかと思う。)</p> <p><エネルギーセキュリティ関連> 非常用発電機能付きのコージェネレーションシステムは存在するが、停電時における建物対策は、費用的にもまずは「非常用発電機もしくは保安用発電機の設置」と記載すべきであり、事業者の費用負担も考えるべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>革新的エネルギー高度利用技術、個別の省エネ対策につきましては資源エネルギー庁の表記に合わせたもので、意図的にガス事業者をクローズアップしたものではありません。また、商品名につきましても普及の状況を導入件数としてお示しする中で統計の表示上そうになっていたのですが、エコウィルはガス事業者の単独商標であり「ガスエンジン給湯器」に変更いたします。エネファームにつきましては燃料電池実用化推進協議会で定められた統一商標ですので注意書きを追加いたします。</p> <p>「非常用発電機もしくは保安用発電機の設置」は防災上不可欠かつ法令上義務付けられていることから既に一般的なものです。本計画は全市的なエネルギーに関する先進的なビジョンであることから、今後を見据えた「再生可能エネルギー機器やコージェネレーション機器の導入」との記載にしております。</p>
2	<p>われわれ30～40代の子育て世代にとって、自身のみならず子供の未来を考えていくうえで非常に重要なエネルギー問題に真剣に取り組んでおられることに、感謝いたします。</p> <p>内容を拝見しましたが、実にさまざまな角度から生駒市の課題解決のためにエネルギーがどうあるべきかを考えた先駆的なものであると感じ、住民として誇らしい気持ちになりました。</p> <p>ぜひ、生駒市のみならず、日本全国に広がるように頑張っていただけたらと思います</p> <p>ただ、1点だけ注文をつけさせていただくとするならば、生駒市がどういふ街をめざし、そのためにエネルギーがどうあるべきかという、大きな目的を書いていただけたらと感じました。</p> <p>(もちろん、それがきちんとあるのでここまで精緻な計画策定ができたのであろうことは十分理解しておりますが・・・)</p> <p>勝手なことばかり書かせていただきましたが、よろしく願いいたします。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、本エネルギービジョンは省エネや創エネといった多面的な角度から生駒市のエネルギー施策について多様な取り組みについて掲載しております。</p> <p>本エネルギービジョンは生駒市環境基本計画を上位計画としており、また環境基本計画は生駒市総合計画を上位計画としております。生駒市がどのような街を目指しているかはこれら総合計画と環境基本計画に定義されており、本エネルギービジョンではその中でも特に環境基本計画の総合ビジョン「豊かな自然と歴史と未来が融合しまち『いこま』」とエネルギー環境分野ビジョンであります「省エネと自然エネルギーで快適に暮らせるまち」を大きな目的としております。</p>

	3	<p>市域の特性に即したエネルギーシステムとしてコージェネレーションが記されているが、生駒市の特性とどのような関連があるのか不明である。コージェネレーションの普及促進ばかりが記載されているが、各種運用実態調査等の文献では省エネになっていないことが明確であり、運用の難しさがある。エネルギーセキュリティーの面においても一般には非常用発電機が法的に設置が義務付けられているが、さらにコージェネレーションまでも設置するのか。コージェネレーションばかりが目立つが、エネルギー会社に扇動されているのではないか。</p>	<p>市域の特性に即したエネルギーシステムとしましては、生駒市は住宅都市であり、住宅や事務所へのコージェネレーションの導入だけではなくHEMSを中心とした大規模なエネルギーマネジメントシステムによる効率的な管理についても最優先に取り組んでいきたいと考えております。コージェネレーションにつきましては、「需要地に近いところに発電施設を設置できるため、送電ロスが少なく、また、発電に伴う冷却水、排気ガスなどの廃熱を有効に回収利用できるため、エネルギーを有効利用することができます」との資料もあります。一定の熱と電気のバランスの中で導入すれば省エネ改修による建築物のエネルギー性能向上と同様、効果が確認されており、住宅都市である生駒市の省エネルギーに対し非常に有効な技術と捉えております。</p>
--	---	--	---